

秋季特別展

百濟寺^{ひやくさい}と近江の仏教美術^じ

百濟寺秘仏公開によせて

faqu Sanji
paraiso na terra

——地上の天国
ルイス・フロイス

Hyakusaiji Temple and the Buddhist Art of Ōmi

2026 9/26^{sat}—12/6^{sun} MIHO MUSEUM

MIHO
MUSEUM

秋季特別展

百済寺と近江の仏教美術

百済寺秘仏公開によせて

百済寺は滋賀県東近江市にあり、滋賀県と三重県にまたがる鈴鹿山脈の西麓に位置しています。聖徳太子が靈験を得て創建したと伝え、眼前にはかつて蒲生野と呼ばれた広大な平野と、その奥に琵琶湖を見下ろしています。そもそも百済寺の建つ愛知郡東部は、依智秦氏を中心とする渡来系氏族によって開発された土地で、七八世紀に彼らによって創建され、のちに天台勢力によって寺勢を拡大していったと考えられています。創建年代については議論もありましたが、嚴重な秘仏として祀られている本尊・十一面観音立像の調査によって、像は確実に八世紀後半までに造像されたことが明らかとなりました。こうして、今に法灯を伝える古代近江の寺院と尊像の存在が確認されたのです。中世を迎えるころには有力な天台寺院として多くの子院を従え、地域の拠点寺院へと発展してゆきました。桃山期には織田信長の祈願所ともなり、ポルトガル人宣教師ルイス・フロイスはその壮麗な姿を「地上の天国」と称しています。しかし、幾度も火災や戦乱に見舞われ、天正年間には信長によって一山が焦土となりました。重要文化財に指定される現本堂は、慶安三年（一六五〇）に復興されたもので、百済寺の歴史は火災と復興を重ねた歩みとも言えます。

本展覧会では、百済寺の秘仏・十一面観音立像をはじめとする貴重な寺宝と、それに関わる近江の古美術・文化財を併せて展観し、滋賀県の仏教美術についてひろく紹介いたします。



- 1 本造十一面観音立像(部分) 重要文化財
奈良時代 8世紀 百済寺蔵
 - 2 本造如意輪観音半跏像 東近江市指定文化財
室町時代 明応7年(1498) 百済寺蔵
 - 3 絹本着色日吉山王神像 重要文化財
鎌倉時代 13世紀 百済寺蔵
 - 4 聖徳太子六随臣像
江戸時代 17世紀 百済寺蔵
 - 5 織田信長朱印状 安土桃山時代
永禄11年(1568) 百済寺蔵
- 表紙 百済寺 仁王門
1、2、5 撮影：山崎兼慈
途中展示替えがあります

講演会 百済寺の仏像
—本尊・木造十一面観音像を中心に—
田中 健一 氏(京都大学・准教授)
10月25日(日) 13:30-15:00

討論会 百済寺ものがたり—仏像・絵画・工芸品からみる百済寺
高梨 純次 氏(公財秀明文化財団・常務理事) 國賀 由美子 氏(公財秀明文化財団・理事)
桑原 康郎 氏(MIHO MUSEUM・学芸部長) 司会：辻上 祐貴(MIHO MUSEUM・学芸員)
11月8日(日) 13:30-15:00

場所：南レクチャーホール 定員：100名 参加費：無料(入場料が別途必要)



同時開催
MIHO MUSEUMコレクション(北館)
花ひらく寛永の美

MIHO MUSEUM

〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷 300
Tel.0748-82-3411 <https://www.miho.jp/>

開館時間 10:00-17:00(入館は16:00まで) 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
入館料 一般1300円、高・大生1000円、中学生以下 無料 ※当館HPよりオンラインチケットも購入可能
主催 MIHO MUSEUM、京都新聞
後援 滋賀県、滋賀県教育委員会、NHK大津放送局、BBCびわ湖放送、帝産湖南交通

